

5 災害や犯罪の無い安心・安全に住み続けられるまちづくり

大雨、地震などの防災・減災対策の充実、防犯対策、ゴミ減量化など、安心・安全で住みよい生活環境をつくります。



消防署共長出張所の新設移転 と防災学習センターの整備

人口増加や高齢化に伴う消防・救急力の強化と施設の老朽化に対応するため、消防署の共長出張所を新設移転しました。

また、地震・水害などの様々な災害を疑似体験するとともに、消防設備の使い方を学び、地域の防災力の向上を図る拠点として、防災学習センターを整備しました。



大府警察署（仮称）の誘致

大府市の悲願の警察署の建設のため、粘り強い要望活動を続け、令和4年8月に大村知事が「大府市内への警察署新設に向けた検討を開始する」旨を表明しました。

現在は、「大府警察署（仮称）建設推進チーム」を中心に、確実かつ早期の警察署の建設に向け、環境整備を行うとともに、様々な調整を行っています。



地域の防犯カメラの設置と照明のLED化

安心安全なまちづくりのため、公共施設や公園等に計画的に防犯カメラを設置するとともに、地域の防犯力を向上させるため、地域の皆様と協力し、道路への防犯カメラの設置を推進しました。

また、市内の全ての防犯灯・道路照明灯のLED化を完了し、安全性と視認性の向上を図りました。



EVを活用した停電対策

市の公用車として、EVなどの次世代自動車を導入するとともに、トヨタ、三菱、日産の自動車販売店との連携協定を締結し、災害等の停電時にEVを電源として活用する体制を整備しました。

また、市民の皆様には、停電時の避難所等の給電に協力いただく「災害時協力車両登録」制度を呼びかけています。

これまでの取組（主な実績）



防災対策の強化（アプリの開発と耐震化）

災害情報や避難所の開設状況等を市災害対策本部から市民の皆様へプッシュ型で発信する「おおぶ防災行政ナビ」を開発しました。

また、木造住宅の耐震改修費補助制度や個別訪問等により、住宅の耐震化に積極的に取り組み、知多地域で最も高い耐震化率（90%以上）となっています。

災害や犯罪の無い安心・安全に住み続けられるまちづくり



ゼロカーボンの推進

2050年度を目途に温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げ、「脱炭素社会づくり」「循環型社会づくり」「自然共生社会づくり」を通じた地球温暖化対策を推進する「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。企業向けの脱炭素経営セミナーや市民の皆様へのエコアクション講座を開催し、脱炭素の実現に取り組みました。

その他、これまでの取組

- 1 警察OBなどの地域安全推進員の増員（4人→7人）と青パトの増車（2台→3台）
- 2 市内の全コンビニエンスストアへのAEDの設置（42台）
- 3 大雨に備えた雨水貯留施設（六間調整池、大府北中地下調整池など）の整備
- 4 上下水道管路の耐震化と江端雨水ポンプ場の改築
- 5 消防団員の処遇改善（活動内容の見直しと報酬の引上げ）

- 6 住宅用のリチウムイオン蓄電池、EVなどの充電システムの導入費の補助
- 7 人と犬及び猫との共生に関する条例の制定と犬猫のマイクロチップ装着費の補助



民間事業者によるEV充電設備の整備のための協定締結

これからの主な取組

- ・ 大府警察署（仮称）の早期建設に向けた課題解消と共長交番の新設要望
- ・ 消防本部の高規格救急自動車の1台増車（4台→5台）、消防職員の定数拡大
- ・ 通学路の安全対策強化（ゾーン30プラス、ハンブ設置、ガードレール整備など）
- ・ 県による五ヶ村川の排水機場の整備に合わせた南島排水区（大東町）の雨水管渠整備
- ・ EVなどの次世代自動車の普及と市内のEV充電設備の拡充
- ・ 再資源化（リサイクル）の推進
- ・ ゼロカーボンシティの推進

